



坂井市社協だより

Topics

特集 こどもの居場所	2P・3P
知ってますか？災害ボランティアセンター	4P・5P
社協の相談事業	6P
寄付・地域の活動紹介	7P

2024年 3月
Vol.107

今年度のメニュー

- 4月 王将の餃子
- 5月 ハンバーグ弁当
- 6月 豚肉と野菜のあんかけ丼
- 7月 焼き肉弁当
- 8月 カレーライス
- 9月 照り入りロールパン
スパゲッティナポリタン
ジャーマンポテト



こどもまんなが社会について考える

こども食堂活動実践報告

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成金を活用しています。



特集 こどもの居場所



世帯の構成人数が減り、そして地域のつながりが希薄化している今、私たちの住む地域には様々な困りごとを持つ子どもや家庭が増えています。そのような今、家でも学校でもなく地域の中に子ども食堂、学習の場、遊び場などの「こどもの居場所」といった“場”の存在が強く求められています。

子ども食堂は、子どもを真ん中に置いた多世代交流の場として様々な効果が期待されています。また、地域でボランティア活動をしたいと考えている人にとっても、そういった想いや各々が持つスキルを活かすことができる場にもなっています。



1 えがお子ども食堂

私たちは、子どもたちの健やかな成長と地域活性化を目指し、子どもを中心に様々な世代が交流できる居場所づくりをしています。お弁当の配布だけではなく、参加者が色んな方といるんな形で繋がるような企画も実施しており、この場での繋がりが常時の繋がりへ発展することも多いようです。今後も子どもたちの笑顔と地域の方々の温かい気持ちが溢れる居場所として運営を頑張っていきます！



実施場所
丸岡バスターミナル
交流センター(バス)
実施日時
毎月第4日曜日 11:00～



坂井市 の現状

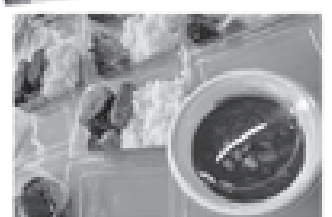
市内で「子ども食堂」を運営している団体は、地域のボランティア団体や任意団体、飲食店など様々です。そこでの活動は、食事の提供だけでなく、なかには学校やまちづくり協議会、コミュニティセンターなどと連携し、学習サポートや季節に合わせたイベントなどを行っている団体もあります。団体によって特色は異なりますが、そこで活動をしている方たちは、「多世代で食べる楽しさを感じてほしい」「家庭だけではできない体験をさせたい」「地域内の交流の拠点になってほしい」などの想いをもちながら活動しています。

各団体の活動者の皆さんの声をご紹介します。



2 子ども食堂スマイル

令和3年3月よりスタートをして今年で4年目に入りました。運営メンバーは、それぞれ自分の得意なことで、子ども食堂に関わっています。子どもたちは異なる年齢同士、遊びながら新たなつながりをつくり、親御さんも一緒にふれあい会話を楽しみながら過ごしています。ここでの自由な関係が、この先も永く続き、その子らしさを引き出せる空間になればいいと思います。これからも、メンバーと一緒に楽しく活動が続けていきたいと思っています。



実施場所
加戸・公園台
コミュニティセンター
実施日時
毎月第4日曜日 10:00～

坂井市

こども食堂 こどもの居場所 MAP



5 100人の村人プロジェクト

現在、子ども達の居場所づくり(OIDE という居場所を運営中！)や多世代交流の機会づくり、子ども食堂や子どもの居場所づくりの必要性の啓発、そして子育て支援を行っています。活動のコンセプトは「一人の子どもを育てるためには100人の村人が必要」。これは村人全員で子育てに関わるという意味ですが、これまでの経験から孤独孤立対策の必要性を感じており、古き良き時代の昔話を昔話のままにしておくのではなく、それを活かした新しい形の地域づくりをしていきたいという想いで活動をしています。「誰かが泣いているとなぜだか自分が涙しめないよね」と思える地域の醸成につながっていけばと思います。



実施場所

いこいの家(丸岡町霞町1-2)

実施日時

毎週木曜日
15:00～19:00

3 大関居場所づくり ～みんないっしょに～

弁当配布から始まった活動も今年度3年目を迎え、現在はみんなで食事を中心に活動しています。

支援団体むすびえのモデル事業(おもちゃプログラム活動)で保育園児、地域の方にもよびかけ多くの参加があり、大盛況に終わりました。

運営者間では、今後もこの活動を「大切にしていきたい」との思いを共有することができました。



実施場所

大関コミュニティセンター

実施日時

毎月第1土曜日

4 ふれあい食堂きべ丸

地区住民全員を対象に実施。

世代を超え、みんなで一緒に会食をします。

笑顔が絶えない、ホットする時間です。

回数を重ね、若い年代のボランティアも増加。

このつながりをもっと地域に広げていきたいです。



実施場所

坂井本部
コミュニティセンター

実施日時

毎月第4日曜日

6 西瓜屋食堂 (すいか食堂)

未来ある子ども達への【食事】と【居場所】の提供、そして有志の大学生による【学習支援】を行っています。運営するにあたって、ここは本人の純粋なコトバを引き出してあげる場所でありたいと思っています。喋りたくない子、愚痴を言いたい子、人に言えない相談事がある子、こちらからおうちのことなどを聞き出すことはしません。学費の支払いを抱えた高校生や大学生、家族からの食事提供が無いなど悩み事に合わせて対応しますので、お金が無くても遊びに来てください。



実施場所

丸岡町西瓜屋 9-25

実施日時

毎週水・木・金
16:00～19:00
毎週土・日・祝
12:00～19:00
※臨時休業有
※予約あれば随時実施

※1回500円(3回1500円)
※2回1000円(5回2500円)
※3回1500円(7回3500円)
※4回2000円(9回4500円)
※5回2500円(11回5500円)
※6回3000円(13回6500円)
※7回3500円(15回7500円)
※8回4000円(17回8500円)
※9回4500円(19回9500円)
※10回5000円(21回10500円)
※11回5500円(23回11500円)
※12回6000円(25回12500円)
※13回6500円(27回13500円)
※14回7000円(29回14500円)
※15回7500円(31回15500円)
※16回8000円(33回16500円)
※17回8500円(35回17500円)
※18回9000円(37回18500円)
※19回9500円(39回19500円)
※20回10000円(41回20500円)
※21回10500円(43回21500円)
※22回11000円(45回22500円)
※23回11500円(47回23500円)
※24回12000円(49回24500円)
※25回12500円(51回25500円)
※26回13000円(53回26500円)
※27回13500円(55回27500円)
※28回14000円(57回28500円)
※29回14500円(59回29500円)
※30回15000円(61回30500円)
※31回15500円(63回31500円)
※32回16000円(65回32500円)
※33回16500円(67回33500円)
※34回17000円(69回34500円)
※35回17500円(71回35500円)
※36回18000円(73回36500円)
※37回18500円(75回37500円)
※38回19000円(77回38500円)
※39回19500円(79回39500円)
※40回20000円(81回40500円)
※41回20500円(83回41500円)
※42回21000円(85回42500円)
※43回21500円(87回43500円)
※44回22000円(89回44500円)
※45回22500円(91回45500円)
※46回23000円(93回46500円)
※47回23500円(95回47500円)
※48回24000円(97回48500円)
※49回24500円(99回49500円)
※50回25000円(101回50500円)
※51回25500円(103回51500円)
※52回26000円(105回52500円)
※53回26500円(107回53500円)
※54回27000円(109回54500円)
※55回27500円(111回55500円)
※56回28000円(113回56500円)
※57回28500円(115回57500円)
※58回29000円(117回58500円)
※59回29500円(119回59500円)
※60回30000円(121回60500円)
※61回30500円(123回61500円)
※62回31000円(125回62500円)
※63回31500円(127回63500円)
※64回32000円(129回64500円)
※65回32500円(131回65500円)
※66回33000円(133回66500円)
※67回33500円(135回67500円)
※68回34000円(137回68500円)
※69回34500円(139回69500円)
※70回35000円(141回70500円)
※71回35500円(143回71500円)
※72回36000円(145回72500円)
※73回36500円(147回73500円)
※74回37000円(149回74500円)
※75回37500円(151回75500円)
※76回38000円(153回76500円)
※77回38500円(155回77500円)
※78回39000円(157回78500円)
※79回39500円(159回79500円)
※80回40000円(161回80500円)
※81回40500円(163回81500円)
※82回41000円(165回82500円)
※83回41500円(167回83500円)
※84回42000円(169回84500円)
※85回42500円(171回85500円)
※86回43000円(173回86500円)
※87回43500円(175回87500円)
※88回44000円(177回88500円)
※89回44500円(179回89500円)
※90回45000円(181回90500円)
※91回45500円(183回91500円)
※92回46000円(185回92500円)
※93回46500円(187回93500円)
※94回47000円(189回94500円)
※95回47500円(191回95500円)
※96回48000円(193回96500円)
※97回48500円(195回97500円)
※98回49000円(197回98500円)
※99回49500円(199回99500円)
※100回50000円(201回100500円)

知ってますか？

被災地の一日でも早い復興のために

災害ボランティアセンター

令和6年1月1日に発生した能登半島地震をはじめ、近年日本においても大規模な災害が多く発生するようになってきました。災害発生の際に、被災地の一日でも早い復興のために設置されるのが「災害ボランティアセンター」です。今回は、災害ボランティアセンターの役割などについて紹介します。



災害ボランティアセンターにおける活動の流れ



災害
ボランティア
センター

History

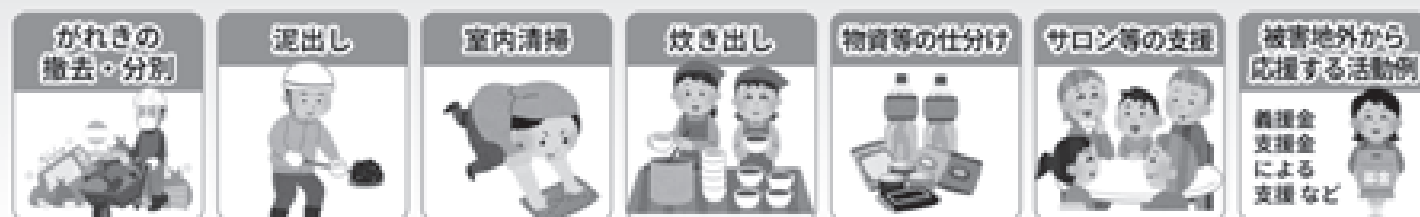
1995年の阪神・淡路大震災や1997年のナホトカ号重油流出事故で多くのボランティアが集まり、災害ボランティア活動が本格化しました。このとき、被災者支援などにおいてニーズに対して効率よくボランティアを派遣・調整する組織が必要とされ、災害ボランティアセンターが誕生しました。

その後、大きな災害に見舞われた被災地に立ち上げられ、運営されるようになりました。



災害ボランティア活動の例

災害ボランティア活動は、災害の種類や被災状況に応じて様々な活動があります。



災害ボランティア活動に参加する前に

災害発生直後の被災地では、水道・電気などのライフラインがままならない中でも、様々な機関・団体が被災状況の把握や人命救助、道路や建物の復旧を行います。また、ボランティアを受け入れる災害ボランティアセンターの開設準備も行われます。こうした中、事前確認をせずにいきなり被災地に向かうと、救援活動の妨げになったり、また、一般車両の通行止めや交通機関の運休等で現地入りできないことや、現地に到着してもボランティア募集が行われていない場合もあります。まずは、事前にしっかり情報を収集して、ボランティア活動の準備をしましょう。

災害ボランティアの心構え

災害ボランティア活動に参加する際の心構えには「自己完結」、「自己責任」、「被災地・被災者への配慮」、「多様性の尊重」の4つがあげられます。

自己完結

自分で準備できることは自分でやりましょう。
装備や宿、食料などボランティア自身が利用するものは自分で準備するのが基本です。

自己責任

災害ボランティア活動では、怪我や病気、事故のリスクが常にあり万が一に備えボランティア活動保険に入ること、健康管理を心がけ、自分の体調と相談しながら活動することが大切です。

被災地・被災者への配慮

被災者には、家族や友人、自宅、仕事など、失ったものがたくさんあり、様々な問題に直面し、不安な思いを抱えています。被災者の気持ちを想像し、配慮した言動を心掛けましょう。

多様性の尊重

被災者のおかれている状況は一人ひとり異なり、災害の発生からのフェーズによってもニーズが変わります。一人ひとりと向き合う姿勢が大切になります。



「もしも…」
のために

ボランティア活動保険に加入しよう！

ボランティア活動中のケガや事故など
「もしも」の時に備えて保険加入をお勧めしています

加入対象者

国内における自発的な意思により他人や社会に貢献する「無償」のボランティア活動を行っている個人、団体

補償内容

ボランティア活動中のさまざまな事故による「ケガ」や「損害賠償責任」を補償

補償期間

令和6年4月1日から
令和7年3月31日まで
(※途中加入の場合、
加入日の翌日から適用)

保険料

補償プラン	年間保険料(1人あたり)
基本プラン	350円
天災・地震保証プラン	500円

お問合せは … 坂井市社協ボランティア・市民活動センター各支部(問合せ先：裏表紙参照)

日常生活
自立支援
事業

支援員として 活躍してみませんか？

地域でお困りの方が安心して生活するために
お手伝いしていただける“生活支援員”を募集しております。

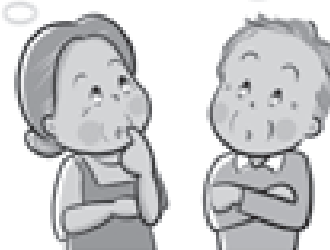
日常生活自立支援事業ってなに？

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助、日常生活費の管理等を行っています。

日常生活費の管理
診療代や公共料金
などの支払い…

具体的にはどんなことをするの？

- ☎ 福祉サービスの利用援助
- ☎ 苦情解決制度の利用援助
- ☎ 日常生活上の消費契約及び住民票の届出等の行政手続に関する援助
- ☎ 預金の払い戻し、預金の解約、預金の預け入れなどの日常生活費の管理、診療代や公共料金などの支払代行
- ☎ 定期的な訪問による生活の変化の察知



生活支援員のサポート内容

支援員さんは支援計画に沿って、利用者宅を訪問。
生活費をおろしたり、病院代や公共料金の支払いをお手伝いします。
頻度は1ヶ月に2～3回程度です。
※75歳以下の方に限ります

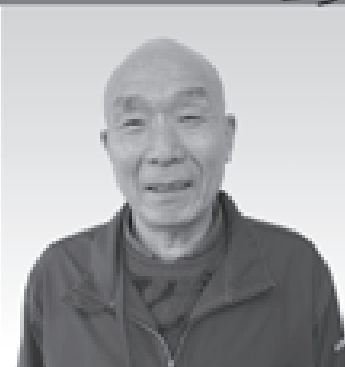
Q & A

現役生活支援員：本多三雄さんにインタビュー

支援員歴：13年
好きな芸能人：五木ひろし
趣味：釣り

Q 生活支援員としてのやりがいを教えてください。

A 喜ばれる瞬間に一番やりがいを感じます。
特別なことを支援しているわけではなく、自分にできる範囲で生活のお手伝いをしています。人に頼られる幸せを感じながら、2度目の定年の壁に向けてこれからも邁進していきます！



先ずはお気軽にご連絡ください！

問合せ先：坂井市社会福祉協議会 TEL：0776-67-0699 担当：権利擁護係

寄付金・賛助会費

ありがとうございました

寄付金

(令和6年1月1日～2月29日)

匿名 2件 1,618円

賛助会費

(令和5年12月1日～令和6年2月29日分)

平野写真館 亀原 由貴子

江守 豊三郎 匿名 4件

(敬称略)

ふくし人★バトン

高松東部コミュニティセンター長として、人と人がつながる居場所づくりに力を入れています。「つながり」は福祉の第一歩だと思います。その一歩のため、コミセンが誰でも気軽に足を運んでももらえる、「つながり」の場になればいいなと考えています。実際に「多目的ホール」という広い部屋では、学校帰りの子どもたちが宿題をしたり遊んだり自由に過ごしています。

また、若い人が地域の活動に参加しやすいように工夫し取り組んでいるところです。

高松東部の将来を担う大切な子どもたちや、今まで地域を支えてくれた高齢の方など、様々な年代の地域の人のためにつなぐの場を提供していきたいと思っています。

高松東部コミュニティセンター
センター長 川上 龍信



▼ 盲導犬と共に暮らす方と交流する児童



手話でじゃんけん
に挑戦！▶

学校で取組まれている 福祉教育の紹介

坂井市立長教小学校(丸岡町)

学 年 4年生

取 組 み

車イス体験、高齢者疑似体験
アイマスク体験、点訳体験
手話通訳体験、
盲導犬・視覚障がい当事者のお話

Teacher's & Student's Voice

今年度は『やさしさいっぱいのにち』をテーマに学習を行ってきました。授業開始当初、児童たちは「車いす利用者や耳が聞こえない人は皆、助けてあげないといけない人」という意識をもっていました。しかし、授業を通して次第に意識は変わり、尊敬の気持ちへと変化していきました。特に印象的だったのは、盲導犬と暮らす方のお話を聞いた後の児童たちの反応です。「色んなことに挑戦している姿がカッコいい」という発言からは、一人の人間として尊敬する気持ちが表れていました。この経験を通して、生徒たちは互いを尊重し、助け合うことの大切さを学び、より優しい心を持つことができるようになったと感じています。

みんなの居場所

サ ロ ン 名 金井地区いきいきサロン(三国町)

開 催 日 年1回

場 所 金井区民館

参 加 者 概ね65歳以上の高齢者 約15名

主 な 取 組 区長からのお話、
講師によるレクリエーション

運営者より

金井地区では、コロナ禍で休止していたサロンを昨年より再開しています。活動は講師の方を呼んでのレクリエーションが主で、参加者同士が日ごろの生活について話をしながら情報交換をしています。また年に1度のサロンということで、久しぶりに再会する方も多く、思い出話に花を咲かせる様子も見られます。コロナ前と比べると参加者が減ってはいますが、地域の方が集まって交流できるように、今後もサロンを続けていければと思います。



